

豊川小だより

2月号



リノベーション工事レポート

— 令和8年 ~ 令和9年 —

ホームページ
QRコード



令和8年1月30日
北区立豊川小学校
校長 中村 順子

校長 中村 順子

毎朝8時、「今日も安全作業でがんばるぞ！オー！」の掛け声が、校庭の工事エリアから聞こえてきます。50～60人、多い日は80人以上の工事業者の方々による打ち合わせが終わる合図です。そのあと間もなく児童の登校時刻となり、豊川小学校の1日が始まります。

豊川小学校は現在、令和9年2月末までのリノベーション(大規模改修)工事の真っ最中です。毎日多くの工事業者の皆さんが出入りし、新しい校舎の竣工を目指して日々作業を進めています。子供たちの安全を最優先にしながら工事に当たっている姿には、頭が下がります。

年末に校舎の東側の部分が完成し、新しい学校名の表示もできました。また1, 3, 6年と特別支援学級4くみは、改修を終えた教室で授業を始めています。廊下には、地元の紀州神社をはじめとする北区の歴史的建造物が描かれた掲示板が付きまして。さらに1月末には図書室や図工室なども完成しました。間もなく、そこでも子供たちが真剣に学習に取り組む姿が見られることでしょう。

*

新しくなったとはいっても建て替えはしていないため、校舎全体の大きさ、広さは変わりません。しかし、教室や廊下などの内装が美しくなり、什器(家具)も新調されたことで、新教室に入った子供たちからは「きれい！」「明るいね！」「なんか、うきうきする！」といった喜びの声が聞かれました。新教室に対する子供たちからの評判は概ね良好で、安心しています。

一方、2, 4, 5年生、保健室、職員室、校長室などは仮設校舎に移転しました。仮設校舎とはいえ、ひと昔前のプレハブのイメージとは異なり、明るく広く、気密性も高いので、寒い日でも暖房がしっかりと効いています。工事前の旧来の校舎から移転したこともあって、子供たちは仮設校舎での生活も快適に感じているようです。

*

しかし、校庭に至っては4分の1程度しか使用できないことは事実です。児童への負担を最小限にするために、工事業者との調整を計画的に行い、資材搬入は体育の授業時間や休み時間を避けて行うなどの措置を講じながら、校庭での運動機会の確保に努めています。

昨年10月に完成した体育館は、学校の教育活動のほかにもPTA子どもまつり、わくわく豊川ひろばなどで、幅広く活用されています。床の張り替えや照明のLED化により大変使いやすくなった体育館は、子供たちに人気のスポットとなっています。また、追加工事があった屋上は1月末に工事が完了し、2月からは貴重な運動の場としての活用を再開します。校舎が2棟に分かれ、それぞれへの移動距離が長くなっていることは、子供たちの負担になっていますが、静かに移動する習慣が身に付いていることで、現在まで大きな事故は起きていません。子供たちの適応力には、改めて感心するばかりです。今後も児童の安全確保を最優先に取り組んでまいります。

*

今年8月には旧校舎の内外装工事が完了し、9月には全学級が新しくなった校舎に再度移転を行います。その後、仮設校舎を撤去して最終工事となる校庭整備が始まり、令和9年2月末には、美しくクオリティの高い人工芝に覆われた校庭が仕上がる予定です。

校庭については、令和8年も、運動会などの学校行事で明桜中学校をお借りしたり、近隣の町会行事などでお使いいただくことができなかつたりと、厳しい状況が続きますが、残り約1年の期間を経て全ての工事が終わり、豊川小として自慢できるような校舎・校庭が完成する運びとなります。保護者・地域の皆様には、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、お願い致します。

